

2-2-9. 真嘉比遊水地における捕獲作業

(1) 目的

真嘉比遊水地周辺はグリーンアノールの生息密度が高い地域となっている。平成 28 年度から平成 30 年度までラップ型の粘着トラップを用いて捕獲を行い、防除手法の検討を行ってきた。平成 31 年度には地域根絶の試みとして、真嘉比遊水地の一部エリアにてグリーンアノール防除フェンスを設置し、生息地の一部を囲うことでフェンスによる遮断効果の試験を実施した。

令和 2 年度からは、再び真嘉比遊水地全域に高密度にトラップを設置し、防除を実施することとした。

(2) 調査方法

真嘉比遊水地の全域にて可能な範囲に高密度にラップ型粘着トラップを設置した。トラップは樹木、擬木柵、フェンス、看板など計 1,080 個設置した。点検は月 2 回実施することとし、遊水地の入り口等の目立つ場所については看板を設置することで、地域住民への周知を行うと共に普及啓発に努めた。

(3) 結果

グリーンアノールの捕獲状況及び捕獲地点を示した（表 2-2-9.1～2、図 2-2-9.1～3）。グリーンアノールは 1,220 個体捕獲され、CPUE は 0.336 となっており、令和 3 年度と比較すると、18.6% の増加となった。

月別の CPUE の推移をみると、今年度は 10 月を除き、昨年度から増加傾向にある。5 月や 12 月以降の冬季では令和 2 年度に比べ大幅に増加していることから、年間を通して近隣環境からの流入・繁殖が絶えず起こっていることが考えられる。今年度の捕獲地点は南東部の緑地帯側で少なく、河川沿いや民家側に集中していることから、周辺住宅地からの往来が推察される。低密度化するためには、周辺地域を含めた対策が必要である。

表 2-2-9.1 令和 4 年度のグリーンアノール捕獲状況

月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
捕獲数	57	72	128	294	204	124	101	128	44	35	33	1,220
TD	46,813	38,935	29,808	32,918	26,554	37,275	31,434	29,441	44,480	30,171	14,809	362,638
CPUE	0.122	0.185	0.429	0.893	0.768	0.333	0.321	0.435	0.099	0.116	0.223	0.336
CPUE 増加率%	+407.2	+16.1	+1.5	+40.9	+23.5	-21.7	+5.5	+198.9	+184.8	+231.7	+195.5	+18.6

* CPUE 増減率は前年比

表 2-2-9.2 令和 3 年度までの真嘉比遊水地における月別捕獲数・CPUE の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	TD	CPUE
H28	0	172	122	495	507	281	166	140	61	9	13	5	1,971	260,260	0.757
H29	77	52	34	84	130	279	119	47	12	3	5	0	842	351,557	0.240
H30	20	44	9	17	182	99	49	99	10	4	2	9	544	170,851	0.318
R2	-	144	29	83	-	101	109	42	-	-	-	-	508	214,361	0.237
R3	-	4	53	132	206	294	136	97	34	14	12	24	1,006	354,595	0.284

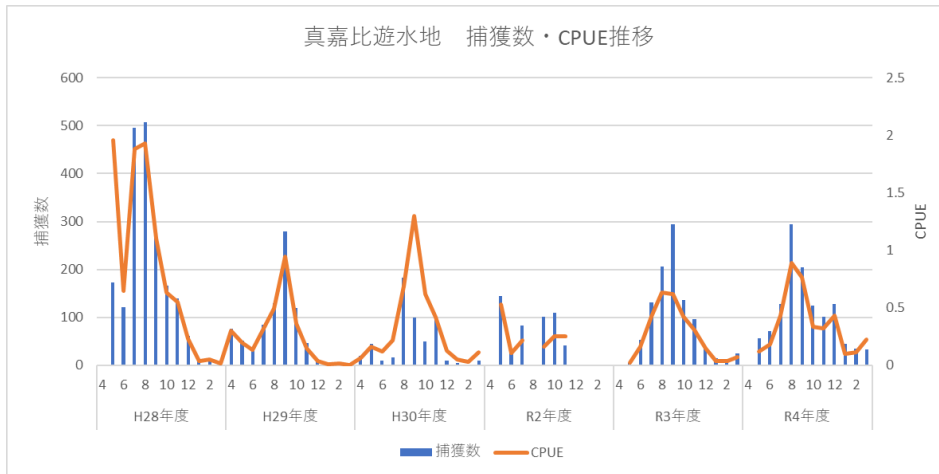


図 2-2-9.1 令和 4 年度の捕獲数と CPUE の推移

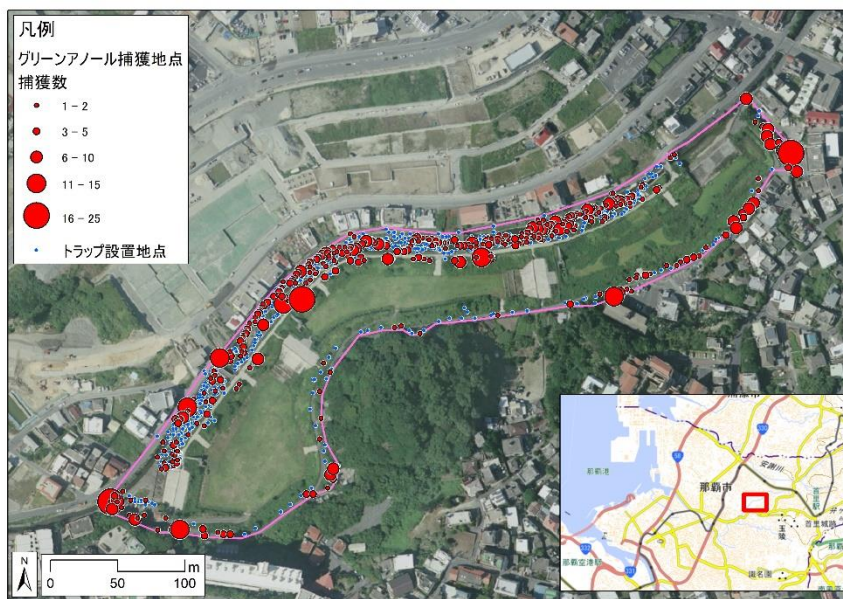


図 2-2-9.2 令和 4 年度のグリーンアノール捕獲地点



図 2-2-9.3 令和 3 年度のグリーンアノール捕獲地点

2-2-10. 漫湖公園における捕獲作業

(1) 目的

令和3年7月に寄せられた一般の方からの目撃情報をもとに、令和3年8月から粘着トラップを設置した。当園はスポーツ施設が多く、車による利用者が多いことから分布拡散が懸念される。本種の生息状況を把握することを目的とした調査を実施した結果、高い捕獲数が記録されたため、令和4年度から定着地域としての防除を行っている。

(2) 調査方法

漫湖公園古波蔵側の全域にて可能な範囲に高密度に、樹木にはラップ型粘着トラップを、フェンスには箱型トラップを設置した。今年度は6月24日、7月1日、9月30日にトラップ増設を実施し、計870個のトラップを設置した。記録は月2回とし、グリーンアノールのみを記録した。また、利用者が多いことから普及啓発用の看板も多数設置した。

(3) 結果

グリーンアノールの捕獲状況及び捕獲地点を示した(表2-2-10.1、図2-2-10.1~2)。グリーンアノールは2,502個体が捕獲され、CPUEは1.191となった。今年度は9月に最多の633個体が捕獲され、CPUEは3.559と高い値を示した。12月に入るまで、6月を除き毎月100個体以上の捕獲があり、高密度で生息していることが考えられる。

捕獲地点に関して、北西部の新那覇大橋と南東部の爬龍橋の中央地点と漫湖沿いに多いことから、公園内で繁殖を繰り返し、高密度化している可能性が考えられる。また、昨年度は捕獲のなかった爬龍橋南東部での捕獲があり、公園内の分布拡大も示唆される。今後、さらなる拡大を防ぐために公園南東部でのトラップ増設を検討するとともに、公園北西部民家への流出を防ぐために民家側での捕獲圧を強化していく必要があると考えられる。

表 2-2-10.1 令和4年度のグリーンアノール捕獲状況

月	R3年度			R4年度			CPUE
	捕獲数	TD	CPUE	捕獲数	TD	CPUE	増減率%
4				146	5,018	2.910	-
5				145	9,162	1.583	-
6				64	9,470	0.676	-
7				196	11,549	1.697	-
8	147	1,690	8.698	559	12,587	4.441	-48.9
9	109	1,950	5.590	633	17,784	3.559	-36.3
10	168	5,440	3.088	349	24,326	1.435	-53.5
11	109	5,600	1.946	211	23,688	0.891	-54.2
12	65	3,520	1.847	65	24,360	0.267	-85.6
1	51	9,630	0.530	57	24,990	0.228	-56.9
2	38	8,990	0.423	28	23,730	0.118	-72.1
3	122	7,750	1.574	49	23,490	0.209	-86.7
合計	809	44,570	1.815	2,502	210,154	1.191	-34.4

* CPUE 増減率は前年比

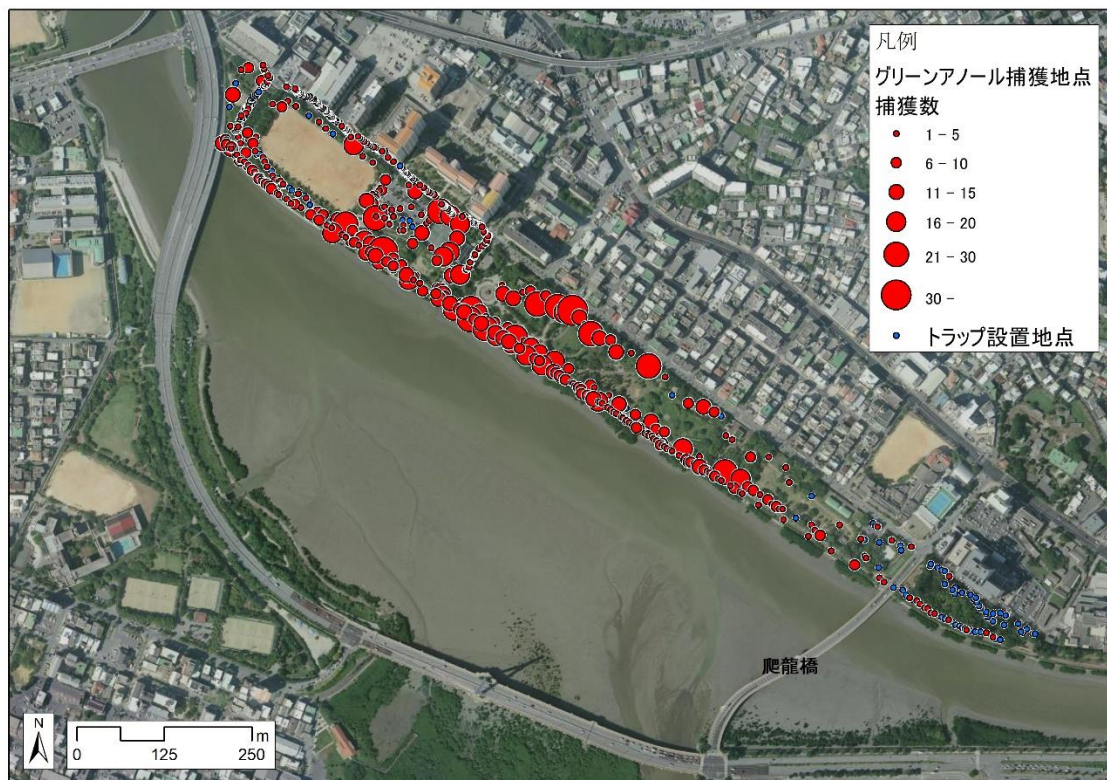


図 2-2-10.1 令和 4 年度のグリーンアノール捕獲地点



図 2-2-10.2 令和 3 年度のグリーンアノール捕獲地点

2-2-11. 具志汚水中継ポンプ場における捕獲作業

(1) 目的

一般の方からの目撃情報により、令和3年6月から具志汚水中継ポンプ場(以下、「ポンプ場」)、にトラップを計40個設置したところ、捕獲が確認された。また、ポンプ場は空港の近くに位置していることから、周囲にレンタカーショップが多く、グリーンアノールが拡散する恐れがあったため、令和3年度から定着地域としての防除を実施している。

(2) 調査方法

樹木毎にラップ型粘着トラップを可能な範囲に設置した。設置した場所には目印としてピンク色のテープを張った。また、トラップの周辺に注意喚起ラベルを設置し、目立つ場所については看板を設置して誤って触らないようにした。点検は月に2回実施し、グリーンアノールのみ記録を行った。

(3) 結果

グリーンアノールの捕獲状況及び捕獲地点を示した(表2-2-11.1、図2-2-11.1~2)。グリーンアノールは52個体が捕獲され、CPUEは0.387となった。昨年度からのCPUE増減率をみると、8・10・11・12月に増加傾向が見られた。

捕獲はポンプ場東側の緑地に隣接しているトラップに集中しており、この緑地から侵入している可能性が示唆される。捕獲数は少ないものの、一定数が捕獲され続けているため、捕獲作業を継続する必要がある。

表 2-2-11.1 令和4年度のグリーンアノール捕獲状況

月	R3年度			R4年度			CPUE 増減率%
	捕獲数	TD	CPUE	捕獲数	TD	CPUE	
4	-	-	-	6	520	1.154	-
5	-	-	-	4	1,320	0.303	-
6	2	600	0.333	1	1,120	0.089	-73.2
7	3	520	0.577	4	1,160	0.345	-40.2
8	5	1,520	0.329	6	920	0.652	+98.3
9	5	960	0.521	8	1,880	0.426	-18.3
10	9	1,400	0.643	12	1,080	1.111	+72.8
11	3	1,160	0.259	5	1,080	0.463	+79.0
12	3	880	0.341	4	1,160	0.345	+1.1
1	5	1,960	0.255	1	1,640	0.061	-76.1
2	0	1,320	0.000	1	1,120	0.089	-
3	0	640	0.000	0	440	0.000	-
合計	35	10,960	0.319	52	13,440	0.387	+21.2

* CPUE 増減率は前年比



図 2-2-11.1 令和 4 年度のグリーンアノール捕獲状況

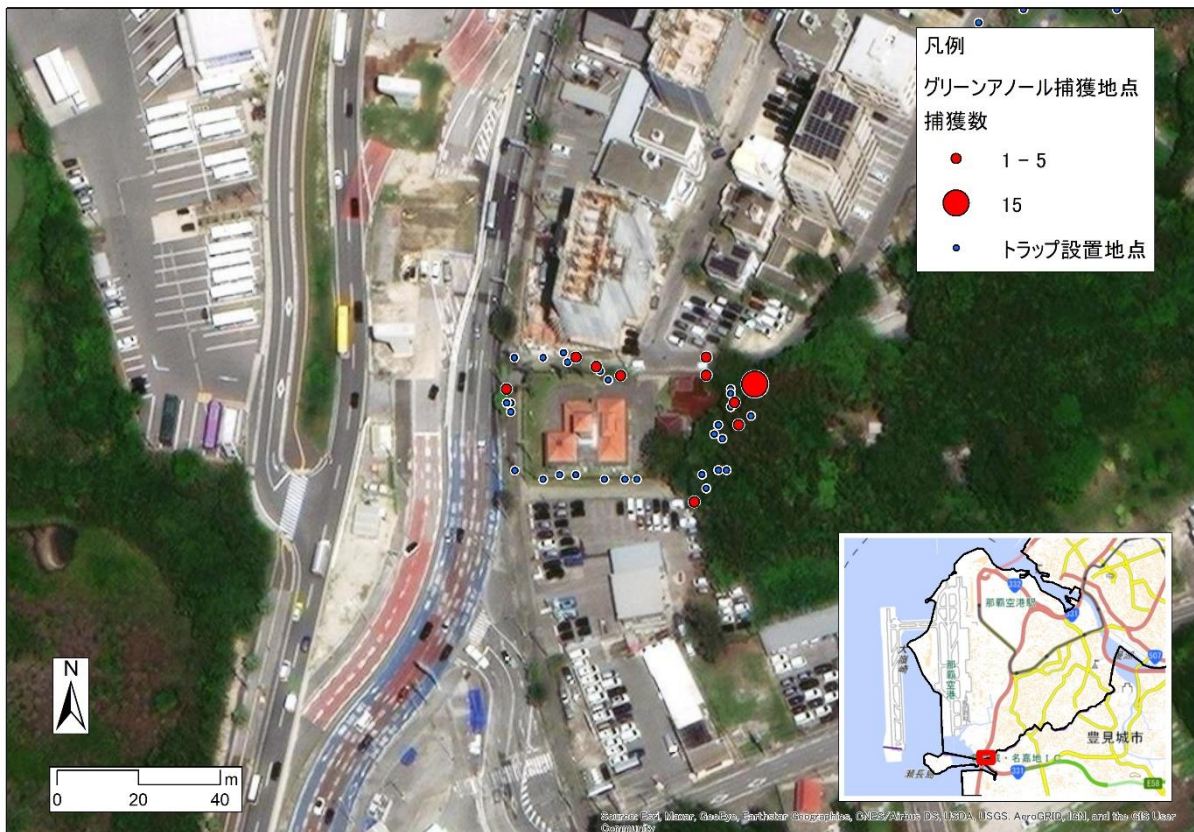


図 2-2-11.2 令和 3 年度のグリーンアノール捕獲地点

2-2-12. 末吉公園における捕獲作業

(1) 目的

当園は地域住民の利用が多く、車による利用者も多いことから、那覇首里地域での分布拡散及び那覇市以北への分布の北上が懸念されたため、令和3年度からトラップを設置し、調査を実施した。調査の結果、グリーンアノールの捕獲が多数確認されたため、令和4年度から定着地域としての防除を実施している。

(2) 調査方法

5月16日～17日、6月6日及び9月8日に計268個の粘着トラップを増設し、計1,040個のトラップを設置した。記録は月2回として、捕獲された全ての爬虫類を記録した。在来種が捕獲された場合には、トラップを設置していない場所に放逐した。トラップの周辺には注意喚起ラベルを設置し、目立つ場所については防除の目的等を記した看板を設置し普及啓発に努めた。

(3) 結果

グリーンアノール及び混獲種の捕獲状況と捕獲地点を示した(表2-2-12.1～2、図2-2-12.1～4)。グリーンアノールは計812個体捕獲され、CPUEは0.256となった。

捕獲地点の多くが西側の林縁部(住宅地との境界)に集中しており、安謝川沿いの西側や安謝川北の西側民家沿いでも多数捕獲されている。安謝川沿いにおいては現在トラップを設置している地点より西側にも街路樹が続いており、その先にもグリーンアノールが生息している可能性がある。また、周辺住宅地においてはグリーンアノールが生息可能と思われる庭木のある民家が多数あり、公園中央部の緑地帯沿いに設置したトラップでの捕獲が少ないことを踏まえると、この住宅地一帯から公園側へ侵入している可能性が考えられる。そのため、安謝川及び周辺住宅地を含めた広域的な対策を早急に検討する必要がある。

在来トカゲ類の混獲も確認されており、今年度はアオカナヘビ546個体(CPUE0.172)、キノボリトカゲ570個体(CPUE0.180)が捕獲された。また、11月から渡り鳥の混獲が増えたことと、12月14日にラップ型粘着トラップでのホンハブの混獲があったことを受け、12月16日から園内全てのトラップを箱型トラップへ変更した。その後、1月10日から順次、民家沿いの人目に付きにくい地点については、ラップ型粘着トラップへ変更した。

また、混獲した在来トカゲ類については、末吉公園内の環境教育施設「森の家みんな」の職員やボランティアにより、令和3年度に作成した混獲レスキューマニュアルによる在来種の放逐作業にご協力いただいた。さらに、秋口から春先にかけて鳥類の混獲が相次いだ際は、負傷した鳥類の救護活動にもご協力いただいた。

表 2-2-12.1 令和4年度のグリーンアノール捕獲状況

月	R3年度			R4年度			CPUE
	捕獲数	TD	CPUE	捕獲数	TD	CPUE	増減率%
4	-	-	-	63	7,883	0.799	-
5	-	-	-	48	24,865	0.193	-
6	54	7,675	0.704	32	30,167	0.106	-84.9
7	32	15,755	0.203	60	26,940	0.223	+9.7
8	133	22,110	0.602	132	26,533	0.497	-17.3
9	118	16,277	0.725	207	28,369	0.730	+7.7
10	81	10,571	0.766	150	28,124	0.533	-30.4
11	56	23,326	0.240	77	43,161	0.178	-25.7
12	12	13,985	0.086	16	25,463	0.063	-26.8
1	12	18,634	0.064	8	33,267	0.024	-62.7
2	17	18,686	0.091	12	28,647	0.042	-54.0
3	39	14,544	0.268	7	14,003	0.050	-81.4
合計	554	161,563	0.343	812	317,422	0.256	-25.4

* CPUE 増減率は前年比

表 2-2-12.2 令和4年度の混獲種捕獲状況

捕獲種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	CPUE
グリーンアノール	63	48	32	60	132	207	150	77	16	8	12	7	812	0.256
アオカナヘビ	9	28	77	91	90	76	76	61	24	6	7	1	546	0.172
オキナワキノボリトカゲ	17	32	46	87	123	82	83	71	12	2	10	5	570	0.180
ホオグロヤモリ	119	273	502	542	343	177	171	193	50	61	82	17	2,530	0.797
ミナミヤモリ	49	153	187	215	93	103	159	117	40	18	71	14	1,219	0.384
オンナダケヤモリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
ヤモリ類	52	185	300	420	401	1006	964	642	145	25	26	3	4,169	1.313
ブラーミニメクラヘビ	4	3	14	12	15	12	6	6	0	0	0	0	72	0.023
合計	313	722	1,158	1,427	1,197	1,663	1,609	1,167	287	120	208	47	9,918	3.125

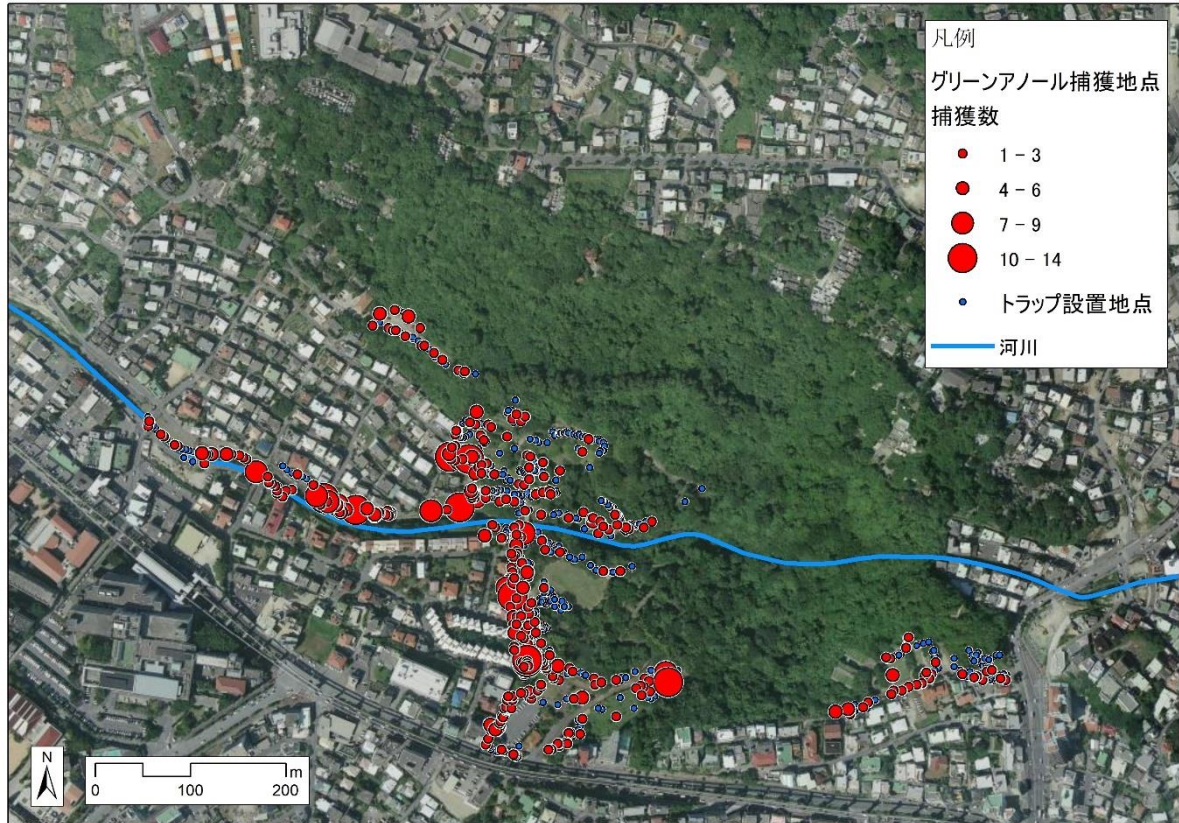


図 2-2-12.1 令和 4 年度のグリーンアノール捕獲地点

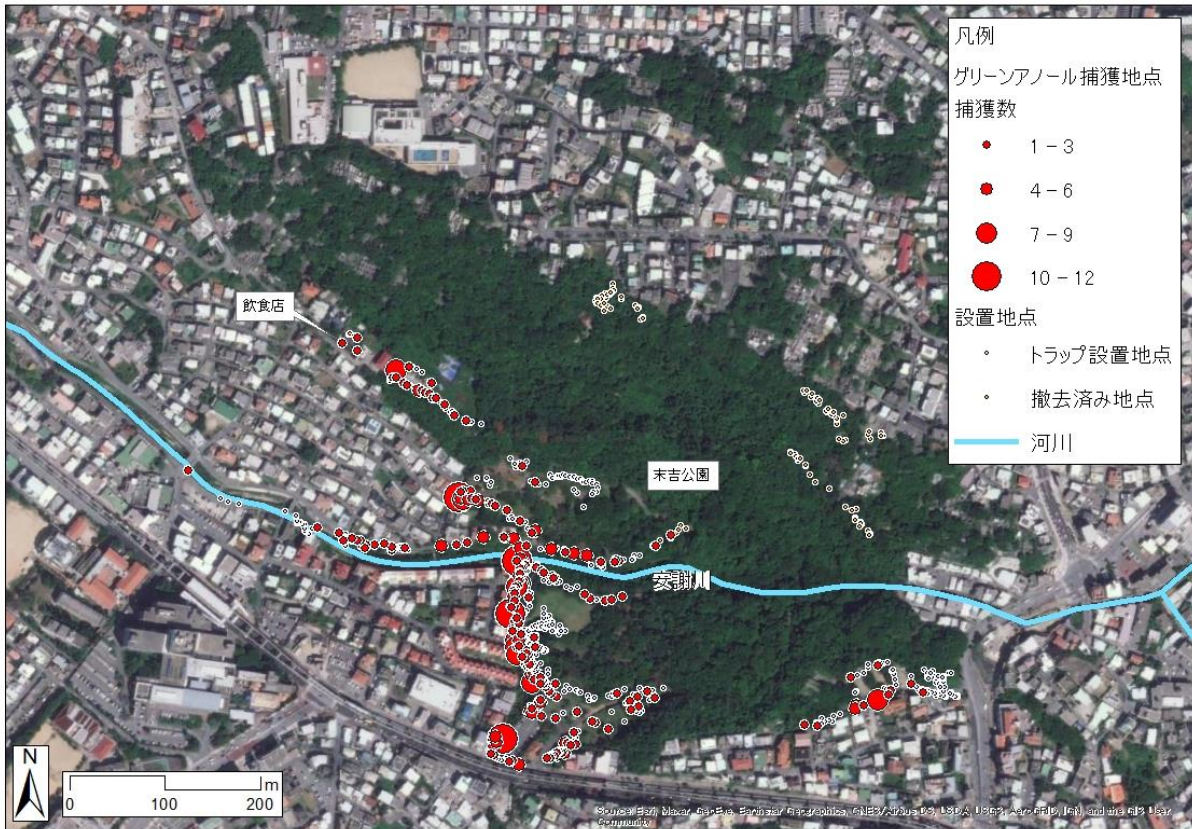


図 2-2-12.2 令和 3 年度のグリーンアノール捕獲地点



図 2-2-12.3 令和 4 年度のオキナワキノボリトカゲ捕獲地点

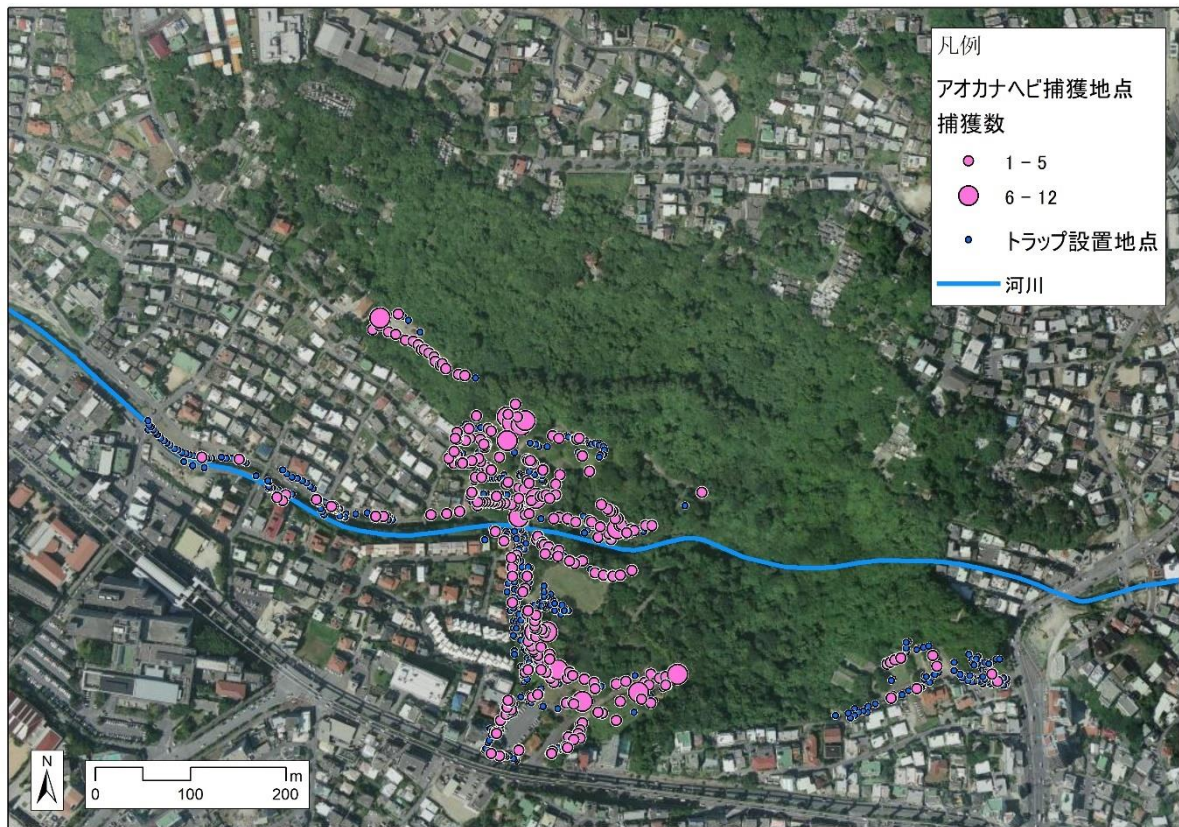


図 2-2-12.4 令和 4 年度のアオカナヘビ捕獲地点